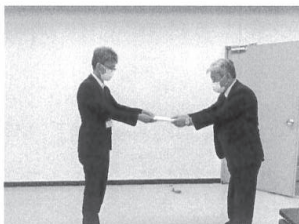


「じん肺・アスベスト被害根絶!」「働かなければ生活できない高齢者・生活困窮者の生活守れ!」合同キャラバン実施

コロナ禍でも、継続は力、



要請書を渡す山室まこと議長、上2か所は労働局、写真下は広島県庁にて(19日)

毎年七月に実施してきた建交労中国地協「高齢者・事業団部会」キャラバンと毎年一〇月に開催してきた「じん肺・アスベスト被害根絶」キャラバンを、今年は一〇月一九日、二二日の四日にかけて合同で実施しました。

広島労働局とは一〇月一九日の午前九時から一〇時三〇分まで、前半四五分間は「じん肺・アスベスト被害根絶」についての申し入れと意見交換、後半四五分間は「高齢者・事業団部会」についての申し入れと意見交換を行いました。

「コロナ禍のなか五人で要請」

建交労からは、山室まこと中国地協議長、広島県本部の山田昭夫書記長、広島労働支部の大平文俊書記長、三原支部の岡田文一委員長、広島県本部の武田喜成書記次長の五人が参加しました。

広島労働局では、労働基準部監督課の中村貴紀主任監察官、職業安定部職業安定課の細木誠課長補佐はじめ八名が出席、「じん肺・

アスベスト根絶」問題では、「ハザードマップについては「自治体で作成し管理している」と回答、「詳しいことは自治体に聞かないとわからない」状況であるとの印象でした。「アスベスト・アナライザー」については、「一台購入して監督署などに貸し出している」などと回答。

「高齢者・事業団」問題では、最低賃金改定については「年度途中でも発注者の責任で引き上げる必要がある。各自自治体への協力依頼は改正前に出している」と回答がありました。

検査キットで実用化始めた締約国会議への参加要望する

広島県では、雇用労働政策課や社会援護課、国際課などから一人が参加しました。とくに「アスベストアナライザー」については広島県は保険開発センターで開発し「今年度からは、検査キットで測定できるよう実用化している」との回答、昨年よりもさらに前進していました。

また「核兵器禁止条約」については、県はすでに政府にたいして批准することを要請していますが、「来年の『締約国会議』にオブザーバー参加することと早期に署名することを要望します」と回答しました。



要請書を広島県の職員に渡す山室まこと議長(19日)

クスノキ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
〒七三〇〇八五三
広島市中区堺町一丁目一九三〇三
TEL (〇八二) 二三五―三〇五〇
FAX (〇八二) 二三五―三〇五二
e-mail
ctf303.hiroshima@orange.plala.or.jp

徒然草

守れ!国民のくらし、いのち、平和

一一・三 県民大集会

〇日時 十一月三日(水曜日・祝日)
午前十一時より

〇場所 広島県庁前広場

- 軍事費削減でコロナ対策に回せ
- 核兵器禁止条約の署名・批准を
- 消費税インボイス制度は中止に
- 交的責任で防災・減災

主催 「軍事費を削ってくらし・福祉・教育の充実を」国民大運動実行委員会

◆衆議院選挙が一〇月一九日に始まり、今月最後の日曜日(三一日)が投票日です。国民の声に追い詰められた菅首相が「次の(自民党)総裁選挙に立候補しない」と政権を投げ出した直後は、自民党という一つの政党の「党首」選びにマスコミが狂騒するなかで、当初の日程が動き、衆議院の解散・総選挙が実施されることになりました◆一番気になるのは「投票率」です。テレビ朝日の世論調査では「必ず行く」と答えた人は五九%、「多分行く」と答えた人は二七%で、この人たちはいかなる可能性が高いと思われず。なぜなら前回二〇一七年の衆議院選挙のときは「必ず行く」は六九%で実際の投票率は約五四%でした◆かつて、「できれば寝ていて欲しい」と露骨に語った総理大臣がいましたが、ネットを利用してさらさらにあくどいデマ宣伝を流し、選挙を汚し、政治をねじ曲げるやり口も暴露されつつあります。一般市民を装って、政権を批判する野党やメディアをウソ情報で攻撃する投稿をしてきたツイッターの匿名アカウント「Dappi」というのは、個人ではなく法人会社であり、一番の取引先が「自民党」であることが明らかになりました◆政権政党が巨額の資金を使って世論操作をしていた可能性があり、オーストリアでは大規模なメディア操作疑惑で首相が辞任に追い込まれたばかりです。さらなる真相解明が国会で行われることが必要ではないでしょうか。(M)

仲間の要求と団結を大切にする活動を推進しよう 選挙に行って政治を変え、要求を前進させよう

広島県本部第23回定期大会を開催 10月3日

時間短縮・感染防止対策を徹底して開催にこぎつけました

建交労広島県本部は10月3日(日)の午後、広島市西区「いきいきプラザ」で第23回定期大会を開催しました。コロナ禍のもと、昨年よりも参加者を絞り、時間短縮など感染防止対策をおこなっての開催、大会には執行部と代議員あわせて24人が参加しました。

開会あいさつに立った小林豊数副委員長(ダンブ支部議長)は、「野党が政権交代にむけて政策合意をしたのを受けて、県本部も中央本部にならって立憲野党四党に野党共闘の申し入れをおこなった。どの野党も『みなさんと認識は共有している』と言っていたことは改めて訪問してよかったです。選挙に行つて政治を変えよう」と強調しました。



新執行委員に佐藤さん、 会計監査に守藤さんを選出しました

県本部大会では、大塚研吾さんに代り佐藤正幸さん(福山地域支部)を新執行委員に、会計監査の高橋武雄さん(尾道支部)に代わり安藤明佳さん(広島支部)を新しい会計監査に選出しました。今後ともよろしくお願いたします。

中藤久雄県本部委員長は、労働組合として、経済闘争、権利を守る闘争の重要性にふれるとともに、自民党の総裁選挙にも関連して、政治闘争の重要性を強調、「総選挙も間近になっており、

要求を前進させるためにも政権交代し、野党連合政権を実現させよう

立憲野党への申し入れに関連して、「われわれの要求を前進させるためにも野党連合政権を実現させるため奮闘しよう」と呼びかけました。

仲間の紹介で労災認定頑張る(労職支部)

討論では、「これまでの運動で、ダンブの過積載は行政がその気になればなくせることを確信

している。建設業は平和産業と言うことで頑張る」(ダンブ支部)「昨年も九件労災認定が実現、仲間も増えた。今年も『仲間が仲間を』紹介してくれるように頑張る」(労職支部)、「三原市には今年になり要請書を二回出した。仲

高齢者の仕事はない、失対

事業の再確立必要(広島支部)

間の労働条件改善を勝ち取るため引き続き頑張る」(三原支部)「コロナ禍の影響で、シルバーで働きたい高齢求職者は増えているが仕事先がなくなっている。失対事業の再確立が必要と思う」(広島支部)「安倍・菅政権を継承する政権では政治は良くなならない。労組としても『投票に行こう』と呼びかけ、消費税の5%への引き下げ、インボイス制度の導入中止、核兵器禁止条約への批准を実現させよう、投票率が上がったなら政治は変わる」(三原支部)など時宜に合った発言が相次ぎました。

河井疑惑の真相解明は終

わてでない、粘り強く街宣

「河井疑惑をただす会」は、選挙になつても、「お金もらった議員は全員起訴せよ!」と宣伝行動を継続していきます。

(10月22日・本通り青山前)



今後の組合日程など

- 一〇・二七 広島労働支部執行委員会
- 一〇・二八 広島県知事選挙告示
- 一〇・三一 衆議院選挙の投票日
- 一一・三 県庁前集会
- 一一・五 広島県議補選(安佐南区)告示
- 一一・五 自治体キャラバン
- 一一・五 建交労三原支部月例会
- 一一・七 建交労女性部大会
- 一一・一一 ダンブキャラバン(整備局ほか)
- 一一・一四 県知事選挙、県議補選投票日
- 一一・二七 ダンブ支部合同役員会

県本部からのお知らせ

○建交労の組合員手帳の申し込み

今月初めに、「建交労手帳」の申し込みの用紙をファクスで送りました

が、今月いっぱい締め切りますので、至急申し込んでください。

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場での活動や取り組みなど、なんでもかまいませんから、ファクスや、「メール」でお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。

ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp
fax 〇八二一一三五一二〇五二